

「回復期脳卒中患者の身体失認の有無が HAL の治療効果に及ぼす影響の検討」

研究協力をお願い

当院では、「回復期脳卒中患者の身体失認の有無が HAL の治療効果に及ぼす影響の検討」という研究を行います。研究目的や方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。患者さんもしくは患者さんの代理人の方が、試料・情報が当該研究に用いられることについて希望されない場合は、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。また、研究に関するご質問は下記のお問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究対象

本研究の対象者は、2017年4月1日から2022年5月31日の期間に耀光リハビリテーション病院の回復期リハビリテーション病棟に脳卒中(脳出血・脳梗塞)が原因で入院され、HALを使用した訓練を実施された患者さんです。

2. 研究の背景・目的・方法

背景: 脳卒中治療ガイドライン 2021 では、歩行補助ロボットを用いた歩行訓練を行う事は妥当であるとされています。

その一方で、身体失認がある患者さんへのロボットを用いた訓練の効果は明示されていません。

目的: 脳卒中後のリハビリにおいて HAL が適応となる患者さんで、身体失認の有無が HAL の治療効果にどのような影響を及ぼすのかを調査・分析を行い、今後の脳卒中ロボットリハビリテーション発展の一助とする為です。

方法: 電子カルテにより、脳卒中が原因で当院へ入院された方の臨床情報を調査し、統計解析を用いて分析します。

※研究結果を分析する際は、氏名・生年月日などの直ちに研究対象者個人を特定できる情報を含まないように致します。また、研究目的以外に研究で得られた研究対象者の情報を使用することはありません。

研究実施期間: 2022年10月28日(金)～2022年12月31日(土)までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報: 年齢、性別、など
- 2) 検査情報: 入院疾患の内訳、運動麻痺の程度、高次脳機能障害の有無、FIM、障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度など

4. 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表する予定としています。その際も患者さんを特定できる個人情報を使用することはありません。

研究対象者のご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。

5. 問い合わせ等の連絡先

研究責任者: 耀光リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法課 富永貴明

住所: 〒857-0022 長崎県佐世保市山手町 855-1

TEL: 0956-25-3210(病院窓口) 時間帯: 9:00～17:00(月～金)